



毒キノコに要注意

夏の気温が高く、その後の適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生することが考えられます。

毎年、有毒キノコを原因とする食中毒が発生しています。
食用のキノコと確実に判断できないキノコは



探らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！

キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！

ツキヨタケ	クサウラベニタケ	テングタケ	ニセクロハツ
			
<p>【中毒症状】 ツキヨタケは食後30分～1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛などの中毒を起こす。</p> <p>【間違えやすい植物】 ・ヒラタケ ・ムキタケ ・シイタケ</p>	<p>【中毒症状】 クサウラベニタケは食後20分～1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛など消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。</p> <p>【間違えやすい植物】 ・ウラベニホテイシメジ ・ホンシメジ ・ハタケシメジ</p>	<p>【中毒症状】 テングタケは食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。そのほか、神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣などで、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。</p>	<p>【中毒症状】 ニセクロハツは食後30分から数時間程度で嘔吐、下痢などの胃腸、消化器系の中毒症状を示す。その後18-24時間ほどで横紋筋溶解が原因と考えられる全身筋肉痛、呼吸困難を示し、死亡に至ることもある。</p>

厚生労働省

◎ツキヨタケ

県内では最も食中毒が多いきのこです。

ブナ、イタヤカエデなどに重なり合って発生します。



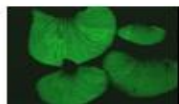
少し盛り上がったつばが
柄の付け根にある



黒いシミがあるものが多い。黒いシミがほとんどないものもある
ので注意が必要である。



傘は通常半円形または扇形であるが、円形のものも報告されている(上)。



暗間で目が慣れれば、青白く見える。カメラで一定の露出時間で撮影すれば、蛍光緑色に確認できる(F5.6で1時間40分)。

◎クサウラベニタケ

広葉樹の地上に発生します。



厚生労働省ホームページより

柄は中空またはスポンジで
華奢なものが多いが（右）、
比較的中実のもの（左）もある
ので注意が必要である。

◎テングタケ

広葉樹の地上に発生します。

イボテングタケ(下左から傘の開く前、半開き、開き切った)



厚生労働省ホームページより

【毒きのこによる食中毒予防のために】

- ・ 知らないきのこは採らないようにしましょう。
- ・ 食べられるきのこに毒きのこが混じっていることがあるので注意しましょう。
- ・ 不安を感じた場合は捨てましょう。
- ・ おすそ分けはしないようにしましょう。

連絡先：山形市保健所 生活衛生課

Tel：023-616-7280

FAX：023-616-7282